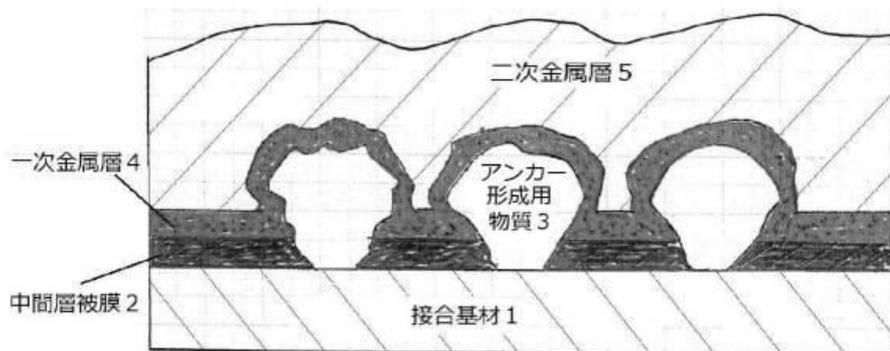


金属半製品

密着力のバラツキが小さい基材と金属層の接合体

発明の名称	接合基材と金属層の接合体		
出願人/権利人	株式会社ワールドメタル	発明者	林田 英徳、松尾 英志、広山 幸久、林田 洋之
出願日	令和1年7月8日	出願番号	2019-127120
公開番号	—	特許番号	6782996
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

接合基材表面に密着力の強い金属層が接合されている接合基材と金属層の接合体

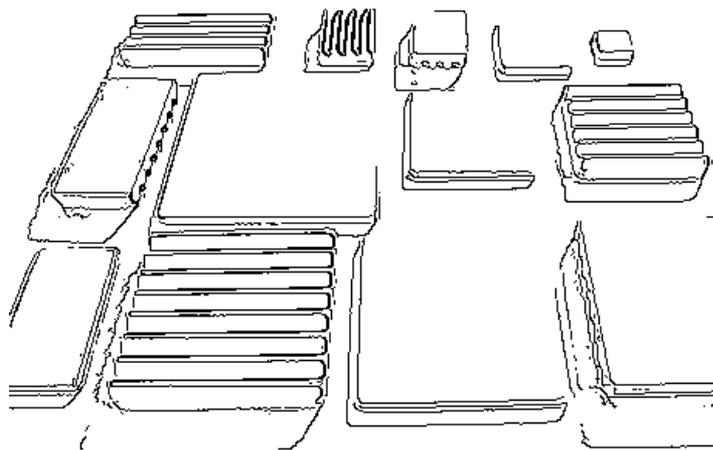
特徴

接合基材に金属層を接合したとき、その金属層の密着力が強く、その密着力のバラツキも小さく安価に接合できる、接合基材と金属層の接合体である。接合基材の接合部表面に中間層の被膜を形成し、この中間層被膜を介して金属層と接合する構造にして、中間層被膜中に金属層をアンカー効果により接合する。アンカー効果により接合された金属層は、その接合基材に対して極めて高い密着力が得られる。接合に高価な設備も必要なく、安価な費用で接合できる。パワートランジスタやLED用の放熱板、電気自動車の部品、燃料電池等に使用されて、大きく成長が期待できる。

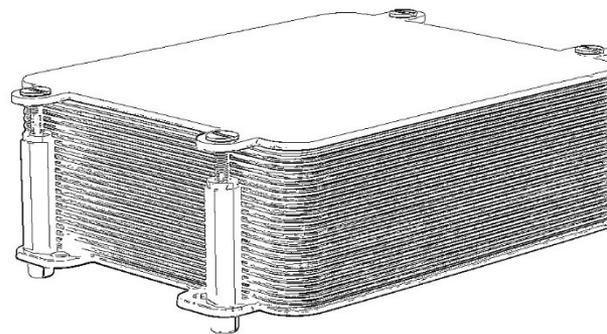
関連分野

ガラス・セラミック、金属原料、電子部品・素子

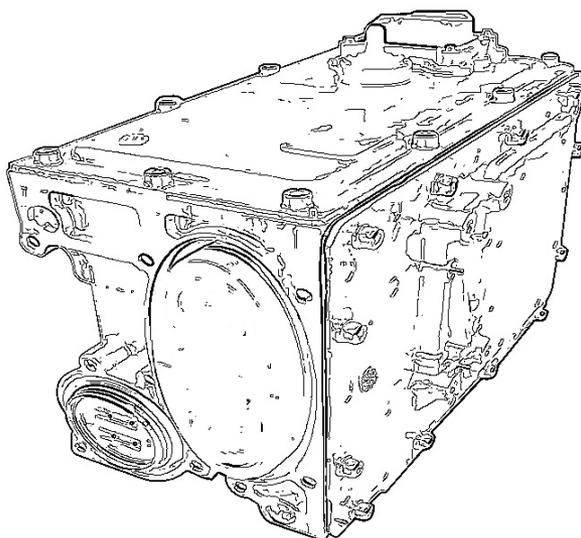
応用の可能性



放熱板



燃料電池の集電部材



電気自動車部品

など

応用の可能性

- ・放熱板
- ・電気自動車部品
- ・燃料電池の集電部材
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・京セラ株式会社
- ・日本特殊陶業株式会社
- ・日本タングステン株式会社
- ・共立エレクトクス株式会社
- ・日本ファインセラミックス株式会社
- ・株式会社FJコンポジット
- ・西村陶業株式会社
- ・日本発条株式会社
- ・住友電気工業株式会社
- ・古河電気工業株式会社
- ・昭和電工株式会社
- ・デンカ株式会社
- ・千住金属工業株式会社
- ・三井金属鉱業株式会社
- など

株式会社ワールドメタルの本発明に関する最新動向

- ・株式会社ワールドメタルのホームページには、特許情報を掲載するページはあるが (<http://www.worldmetal.co.jp/patent/patent.html>)、本件特許に関する情報は見受けられない。

本ページの情報は2021年1月時点において事務局が調査を行った結果に基づきます。